

プレサリオでオリジナルDVDを作ろう

DVDit!™ 2.3 LE For Compaq Japan

Ulead VideoStudio 5.0 SE

ソフトウェアご使用にあたってのご注意

画像、映像、音楽などの著作物は「著作権法」によって保護されます。このような著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用することを目的とする場合などで、かつ「著作権法」で認められる範囲内で行うことができます。著作者・著作権者などの権利者の許諾なく、これらの複製（データ形式の変換を含みます）、改変、複製物の譲渡又はネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」などとして損害賠償の請求や刑事罰を受けることがあります。本製品を使用してこれらの複製などをされる場合には、「著作権法」を遵守の上、適切なご使用を心がけてください。

本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。

Compaq Computer Corporation は、本書中の技術的誤り、および校正上の誤りや脱落、ならびに本書に従って装置を設置、稼動および使用した結果生じる間接的または直接的損害に対して、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本書に記載されている情報は、著作権により保護されています。本書のいかなる部分も、Compaq Computer Corporation から書面による事前承諾を得ていなければ、複写または複製することはできません。

© 2001 Compaq Computer Corporation. All rights reserved. Printed in the U.S.A., Brazil, Canada, Japan, Korea, Singapore, Taiwan, and the U.K.

Compaq、Presario は U.S. Patent and Trademark Office に登録されています。

Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

本書に記載されているソフトウェアは使用許諾書および機密保持同意書に従って提供されるものです。従って、本ソフトウェアの使用および複製は許諾事項に基づきます。

本書に記載されている製品名は、各社の商標または登録商標です。

プレサリオでオリジナルDVDを作ろう 目次

デジタルビデオ編集ソフト

Ulead VideoStudio 5.0 SE

Step 1 映像の取り込み	6
Step 2 ムービーの編集	7
Step 3 ムービーファイルの作成	10

DVDオーサリングソフト

DVDit!™ 2.3 LE For Compaq Japan

Step 1 プロジェクトの設定	11
Step 2 ムービーファイルの取り込み	12
Step 3 ファーストプレイの作成	13
Step 4 ボタンの作成とムービーの登録	13
Step 5 プロジェクトのプレビュー	17
Step 6 メニューの設定を変更する	17
Step 7 ムービーの設定を変更する	18
Step 8 DVDの作成	18

お問い合わせについて	21
------------------	----

プレサリオに搭載されているDVD-RWドライブを利用して、オリジナルのDVDタイトルを作成してみましょう。付属ソフトのUlead VideoStudio 5.0 SEとDVDit! 2.3 LEを使えば、誰でも簡単にビデオ映像をDVDタイトルに仕上げることができるでしょう。ここでは、Ulead VideoStudio 5.0 SEとDVDit! 2.3 LEによる、DVD作成の最も基本的な手順について紹介していきます。本ガイドブックに記載されていない詳しい使い方は、各ソフトのヘルプをご覧ください。また一般的なプレサリオの使用法については、別冊の「はじめようプレサリオ」「プレサリオステップアップ」をご覧ください。

なお、別冊の「プレサリオアプリケーションガイド」には、Ulead VideoStudio 4.0 SEについて記載されていますが、このモデルにはUlead VideoStudio 5.0 SEがバンドルされています。

ご注意

本製品出荷時には、DVD-R/RWではDVDビデオの書き込みは可能ですが、バックアップを目的とした書き込みは非対応です。対応状況については、プレサリオホームページの「プレサリオ サービス&サポート広場」(<http://www.compaq.co.jp/athome/presario/service/service.html>)をご参照ください。

またお客様へのさらに充実したサポート、最新情報のご提供のため、「コンパックプレサリオ ユーザ登録センター」へユーザ登録をされることをおすすめします。

ユーザ登録方法は、別冊の「プレサリオ ステップアップ」をご覧ください。

デジタルビデオ編集ソフト

Ulead VideoStudio 5.0 SE

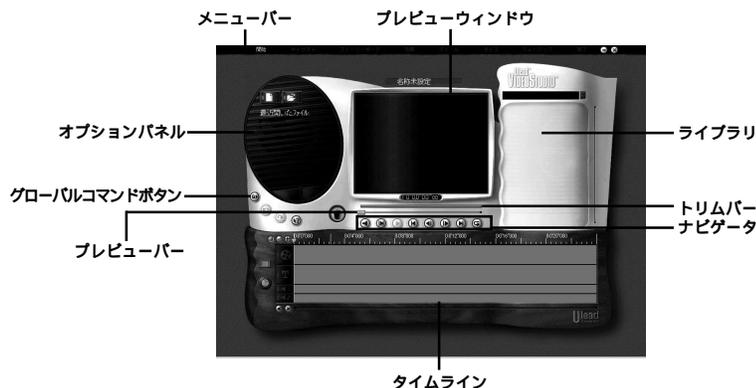
Ulead VideoStudio 5.0 SE

(ユーリード ビデオスタジオ 5.0 エスイー)

まずは、Ulead VideoStudio 5.0 SEを利用して、デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込んで編集し、ムービーファイルを作成してみます。Ulead VideoStudio 5.0 SEは、複雑な操作を必要とせず、取り込みからムービー作成まで簡単に行うことができます。

本ソフトは添付のCD-ROMに収録されていますので、使用する前にインストールが必要です。

デジタルビデオカメラの動作や仕様に関しては、各メーカーにお問い合わせください。



STEP 1 映像の取り込み

デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込みます。

① プレサリオとデジタルビデオカメラの接続

プレサリオの背面または前面にあるIEEE1394端子とデジタルビデオカメラのデジタルビデオ端子を専用のケーブルで接続します。接続は、プレサリオを起動した状態で、カメラの電源をオフにして接続します。接続後、カメラを再生(VTR)側にして電源を入れます。

② ソフトの起動

Ulead VideoStudio 5.0 SEを起動します。デスクトップにある  「Ulead VideoStudio 5.0 SE」をダブルクリックするか、または「スタート」メニューから「プログラム」「Ulead VideoStudio 5.0」「Ulead VideoStudio 5.0 SE」を選択します。

③ 映像の取り込み準備

起動したら左上にある「プロジェクトを作成」ボタンをクリックします。

プロジェクトは、ビデオやオーディオ、効果などの情報を登録するためのファイルで、最終的に作成されるムービーファイルはこのプロジェクトファイルを元に作成されるようになっています。

Ulead Video Studio 5.0 SE初回起動時は、「グローバルコマンド」ボタンをクリックして、キャプチャプラグインの切り換えで「Microsoft DV Camera and VCR」を選択してください。



6 プレサリオでオリジナルDVDを作ろう

④作成するファイルの詳細を決める

「新規作成」ダイアログボックスが開きます。任意のプロジェクト名や表題(作成しようとするムービーファイルの名前)などの情報を入力し、「使用可能なプロジェクトテンプレート」で「NTSC DVD 720 × 480(29.97f/s)」または「NTSC VCD 352 × 240(29.97f/s)」を選択して「OK」ボタンをクリックします。



重要

Ulead VideoStudio 5.0 SEはさまざまなムービー形式をサポートしていますが、作成したムービーファイルをDVDit! 2.3 LEに取り込む場合は、MPEG1もしくはMPEG2形式でムービーファイルを作成しておく必要があります。MPEG1形式のムービーを作成する場合は「NTSC VCD 352 × 240 (29.97f/s)」を、MPEG2形式のムービーを作成する場合は「NTSC DVD 720 × 480(29.97f/s)」を選択してください。これら以外のMPEG1やMPEG2形式で作成したムービーファイルは、DVDit! 2.3 LEで取り込むことができないので注意してください。

⑤映像の取り込み開始

お手持ちのデジタルビデオカメラを操作して、取り込みたい映像を再生します。プレビューウィンドウにビデオの映像が表示されるので、それを見ながら取り込みたい場面になったらオプションパネル内の「ビデオをキャプチャ」ボタンをクリックします。録画を中止するには、キーボードの「Esc」キーを押すか、再度「ビデオをキャプチャ」ボタンをクリックします。これらの操作を繰り返して、映像を切り分けて取り込んでいきます。



STEP 2 ムービーの編集

パソコンに取り込んだ映像に、文字や音楽、特殊効果を加え、編集します。

①取り込んだ映像を確認する

映像の取り込みが終わったら、画面上部にあるメニューバーから「ストーリーボード」をクリックします。取り込んだ映像は画面下にあるストーリーボードに並んでいるので、ストーリーボードの映像をクリックして「再生」ボタンをクリックすると、その内容をプレビューすることができます。また、取り込んだ映像はドラッグ&ドロップで簡単に並べ替えることができます。ストーリーボードで並べ替えた映像を確認したい場合は、「プロジェクトの再生」ボタンをクリックすることで並べ替えた順番にプレビューすることができます。



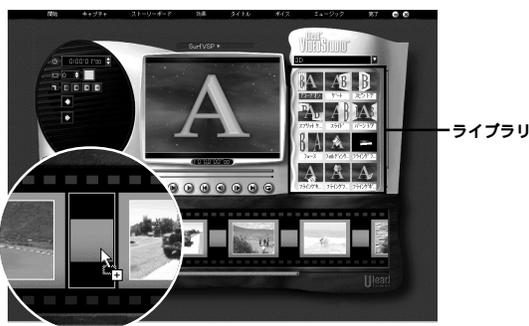
②映像のトリミング

取り込んだ映像の前後を削除して、必要なシーンだけに編集する(トリミングする)には、トリミングしたい映像をストーリーボードから選択して、プレビュー画面の下にあるトリムバーをドラッグしてシーンの始めと終わりの部分を指定します。トリムバーの上にあるカウンタは取り込んだ映像の再生時間を示します。



③特殊効果を加える

Ulead VideoStudio 5.0 SEは、シーンの切替え時の画像にさまざまな効果を加えることができます。上部のメニューバーから「効果」メニューをクリックすると、ライブラリに効果の一覧が表示されます。加えたい効果を選択すると、プレビューウィンドウでその効果のプレビューを確認することができます。効果を追加するには、効果の一覧からシーンとシーンの間にドラッグ&ドロップします。



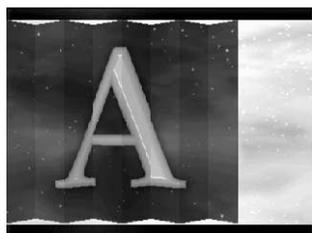
特殊効果の例

これは特殊効果の一例です。

シーンAからシーンBに切替わる時の画像に以下のような効果を加えることができます。

「アコーディオン」効果

画面がアコーディオンのように折りたたまれて、その下から次のシーンが現れます。



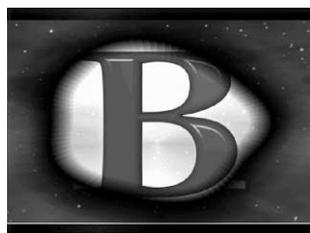
「パードア」効果

画面中央から左右に紙がめくれるようにシーンが消えていき、その下から次のシーンが現れます。



「燃烧」効果

画面中央から紙が燃えるようにシーンが消えていき、その下から次のシーンが現れます。



④文字を追加する

映像に文字を表示させたい場合は、「タイトル」メニューをクリックして、オプションパネル内の「タイトルクリップ」を作成または編集」ボタンをクリックします。プレビューウィンドウに文字を入力するためのカーソルが表示されるので、テキストを入力します。右側のライブラリにある文字のサンプルを選択し、プレビューウィンドウやタイトルトラックにドラッグ&ドロップして文字を入れることもできます。サンプルの文字を変えたい場合は、サンプル文字の一覧からプレビューウィンドウへドラッグ&ドロップしたあと、「タイトルクリップを作成または編集」ボタンをクリックして文字を入力します。入力したテキストの色やフォント、位置などを変えたり、タイトルを表示する時間や動きのあるタイトルを作成することも可能です。タイトルを作成したら「タイムラインへ追加」ボタンをクリックします。なお、作成したタイトルは、タイムラインウィンドウのタイトルトラックからライブラリにドラッグ&ドロップすることでライブラリに登録することができます。



⑤音声を追加する

映像に音声を追加したい場合は、「音声」メニューをクリックします。「録音」ボタンをクリックして録音を開始します。録音を終了する場合は、再度「録音」ボタンをクリックします。録音した音声は、Ulead VideoStudio 5.0 SEがインストールされているフォルダの中に自動的に保存され、ボイストラックに追加されます。また、ライブラリからサンプルを選択してボイストラックへドラッグ&ドロップして追加することもできます。さらに、すでにお持ちのファイルを追加するには、タイムラインウィンドウの左にある「メディアファイルを挿入」ボタンをクリックして表示されるメニューから「オーディオを追加」を選択し、「オーディオファイルを開く」ダイアログボックスで追加したいファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。



⑥BGMを追加する

映像にBGMを追加することもできます。「ミュージック」メニューをクリックして、BGMに使用したい音楽CDをドライブに入れます。オプションパネルの「CDトラックのデデュレーション」ドロップダウンメニューで使いたい曲を選んで「CD音楽を録音」ボタンをクリックします。途中で録音を終了する場合は、再度「CD音楽を録音」ボタンをクリックします。録音した音楽は、Ulead VideoStudio 5.0 SEがインストールされているフォルダの中に自動的に保存され、ミュージックトラックに追加されます。また、ライブラリに登録されているオーディオファイルを使用することもでき、その場合はライブラリから使いたいオーディオファイルを選択して、ミュージックトラックへドラッグ&ドロップします。さらに、すでにお持ちのファイルを追加するには、タイムラインウィンドウの左にある「メディアファイルを挿入」ボタンをクリックして表示されるメニューから「オーディオを追加」を選択し、「オーディオファイルを開く」ダイアログボックスで追加したいファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。



STEP 3 ムービーファイルの作成

編集したり効果を加えた映像を、ひとつのファイルにまとめ保存します。

① 映像の保存形式を選択

すべての編集が終わったら、映像をひとつにまとめる作業を行います。メニューの「完了」をクリックして、オプションパネル内の「ムービーを作成」ボタンをクリックします。すると、映像の保存形式を選択するメニューが表示されますので、「NTSC DVD 720×480(29.97fps)」または「NTSC VCD 352×240(29.97fps)」を選択します。

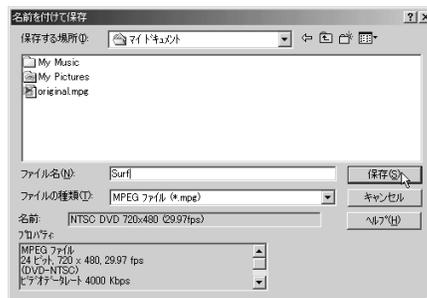


NTSC DV 720×480 (29.97fps)
 PAL DV 720×576 (25fps)
 NTSC VCD 352×240 (29.97fps)
 PAL VCD 352×288 (25fps)
 NTSC DVD 720×480 (29.97fps)
 PAL DVD 720×576 (25fps)
 Mpeg1 NTSC - 高画質
 Mpeg1 PAL - 高画質
 Mpeg2 NTSC - 高画質
 Mpeg2 PAL - 高画質
 Streaming RealVideo ファイル(*.rm) - 高画質
 Streaming RealVideo ファイル(*.rm) - 低画質
 Streaming Window Media(*.wmu) - 高画質
 Streaming Window Media(*.wmu) - 低画質
 カスタム

重要 保存形式は、映像を取り込むときに「新規作成」ダイアログボックスで選択した「使用可能なプロジェクトテンプレート」で選択したものと同一形式を選択してください(詳しくは本書7ページを参照してください)。

② 作成した映像を保存

「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されるので、ファイル名を入力して「保存」ボタンをクリックします。すると、ムービーの作成が始まりますので、作業が終了するまでしばらく待ちます。作業が終了すればムービーの完成です。



お問い合わせ先
 ユーリードシステムズ株式会社
 ユーザーサポートライン
 TEL 03-5491-5662
 FAX 03-5491-5663
 受付時間 10:00～12:00 13:00～17:00
 (土・日曜、祝・祭日を除く)
 サポートE-mail support@ulead.co.jp
 ホームページ http://www.ulead.co.jp/

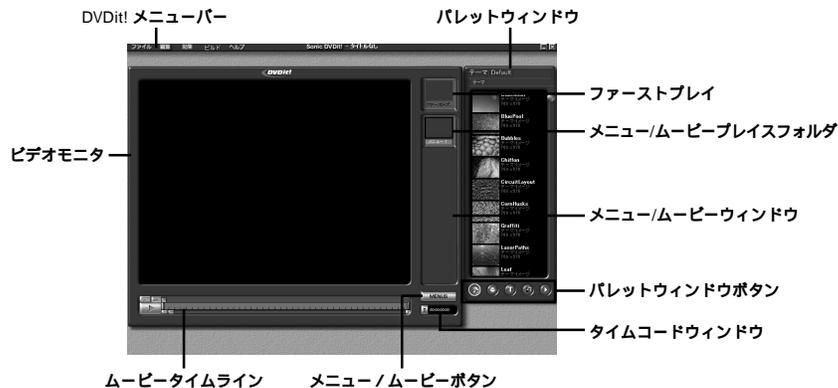
DVDオーサリングソフト

DVDit!™ 2.3 LE For Compaq Japan

DVDit!™ 2.3 LE For Compaq Japan

(ディーブイディーイット 2.3 エルイー フォー コンパック ジャパン)

DVDit! 2.3 LE For Compaq Japan(以下、DVDit!)を使って、作成したムービーをDVD-R/RWに書き出し、オリジナルのDVDを作ってみましょう。DVDit!の操作はとても簡単で、ほかのアプリケーションにより作成されたムービーやオーディオ、グラフィックなどのデータを取り込み、ドラッグ&ドロップの操作だけで、DVDタイトルを作成することができます。



STEP 1 プロジェクトの設定

これから作成するプロジェクトの設定を行います。

プロジェクトは、DVDを構成するビデオ、オーディオ、およびナビゲーション情報を含んでいるファイルです。DVDit!では、プロジェクトを元にDVDディスクを作成するようになっています。

① ソフトの起動

DVDit!を起動します。デスクトップにある  「DVDit! LE」をダブルクリックするか、または「スタート」メニューから「プログラム」「DVDit! LE」「DVDit! LE」を選択します。

② プロジェクトの作成

起動画面で「新しいプロジェクトを始める」ボタンをクリックします。



③ ビデオ形式の選択

プロジェクトの設定を行います。「ビデオ様式を選んでください」で「NTSC」を、「ビデオフォーマットを選んでください」でUlead Video Studio 5.0 SEで作成したムービー形式が「NTSC VCD 352×240(29.97f/s)」なら「MPEG1」を、「NTSC DCD 720×480(29.97f/s)」なら「MPEG2」を選んで、「設定終了」ボタンをクリックします。



STEP 2 ムービーファイルの取り込み

① ムービーファイルの取り込み

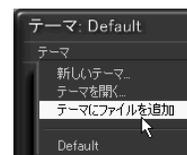
Ulead VideoStudio 5.0 SEで作成したムービーファイルをDVDi!に取り込みます。ムービーファイルを取り込む場合は、パレットウィンドウの下にある「メディア」ボタンをクリックして、メディア用のテーマリストを開きます。



テーマとは、メニューの背景、ボタン、メディアクリップなど、DVDi!で利用できる素材を管理するための方法です。

② ファイルをテーマに追加

パレットウィンドウのメニューバーにある「テーマ」から「テーマにファイルを追加」を選択します。



③ 取り込むファイルの指定

「ビデオファイルまたは静止画像ファイルを選択」ダイアログボックスが表示されるので、取り込みたいファイルを指定して、「開く」ボタンをクリックします。



④ サムネイル画像の追加

パレットウィンドウに取り込んだムービーファイルのサムネイル画像(ムービー内容を示す画像)が追加されます。②、③の操作を繰り返すことにより、ムービーを追加することができます。



STEP 3 ファーストプレイの作成

DVDの起動時に必要なファーストプレイにメニュー画面を登録します。
 ファーストプレイとは、DVDディスクが挿入された時に指定されたムービーまたはメニューが自動的に表示されるようにDVDプレーヤーに指示する機能です。ディスクにファーストプレイの指示がないと、ディスクをDVDプレーヤーに挿入しても何も実行されません。

①ファーストプレイの作成

DVDのファーストプレイで表示される画面を作成しましょう。DVD挿入時にメニューを表示したい場合は、ファーストプレイには、メニュー画面を登録します。挿入後すぐにムービーを再生したい場合には、ムービーを登録します。ここでは、メニューを作成してファーストプレイに登録することになります。パレットウィンドウの下にある「背景」ボタンをクリックします。

背景ボタン



②背景の選択

パレットウィンドウからお好みの背景のサムネイル画像を選択し、ファーストプレイプレイスフォルダにドラッグ&ドロップします。あなたがお持ちの画像ファイルを背景に使用したい場合は、パレットウィンドウの下にある「背景」ボタンをクリックして、パレットウィンドウのメニューバーの「テーマ」「テーマにファイルを追加」を選択します。「ビデオファイルまたは静止画像ファイルを選択」ダイアログボックスが表示されるので、取り込みたいファイルを指定して「開く」ボタンをクリックします。

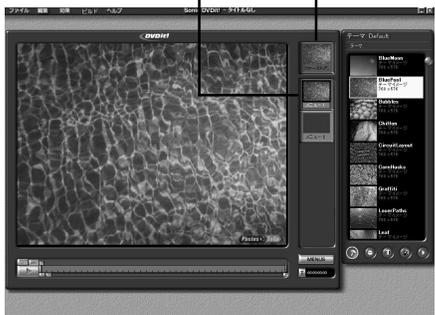
ファーストプレイプレイスフォルダ



③新規メニューの作成

ドラッグ&ドロップしたサムネイルがファーストプレイプレイスフォルダに表示され、「メニュー1」とラベル表示された新しいメニューがメニューリストに作成されます。メニューを追加するには、②の操作を再び行います。プロジェクトに複数のメニューがある場合、それらのメニューをリンクさせる必要があり、リンクすることによって、メニューを切り替えることができます。

メニュー1 ファーストプレイ



STEP 4 ボタンの作成とムービーの登録

①ムービーの登録

メニューにムービーを登録しましょう。ムービーはボタンにリンクしたり、直接ムービーからボタンを作成することができます。ここでは直接ムービーからボタンを作成することになります。

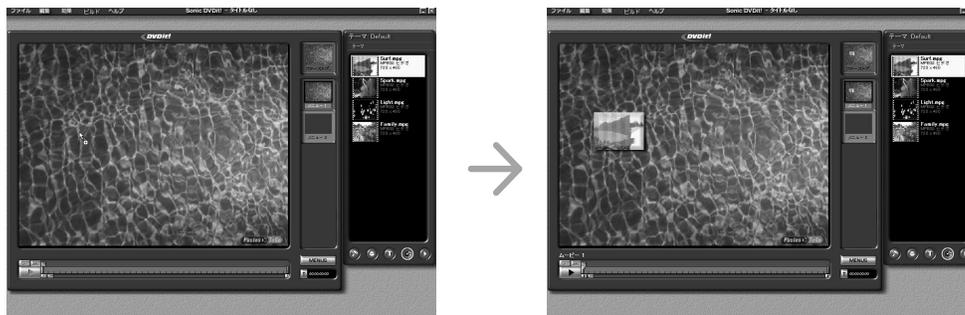
まず、パレットウィンドウの下にある「メディア」ボタンをクリックします。

メディアボタン



②サムネイル画像のドラッグ&ドロップ

あなたが用意したムービーのサムネイル画像がメディアリストに表示されているので、メニュー背景にドラッグ&ドロップします。すると、ムービーのサムネイル画像をボタンとして作成できます。このボタンは、メディアリストにあるムービーと自動的にリンクされます。



③ボタンのサイズ調整

ボタンは自由にサイズや位置を調整することができます。



重要 「Shift」キーを押しながらドラッグすると、サイズの比率を固定したまま拡大縮小することができます。

④登録の繰り返し

同様にほかのムービーを登録していきます。



⑤ボタンテーマへの切り替え

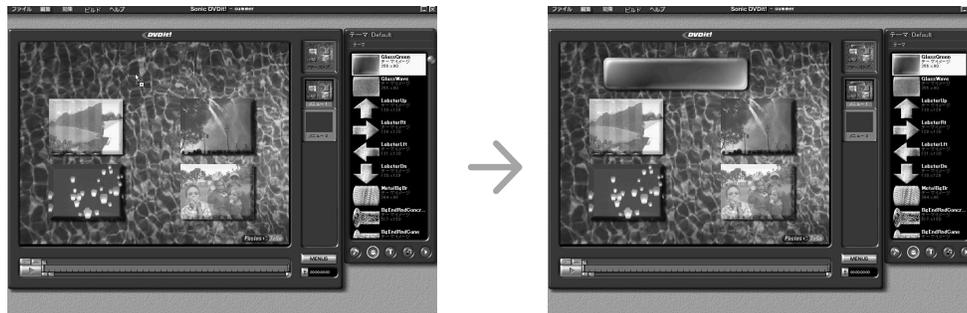
次に、メニュー画面上にボタンを追加します。まずは、メニューのタイトル画像として利用するボタンを追加してみましょう。パレットウィンドウの下にある「ボタン」ボタンをクリックします。



ボタンボタン

⑥ ボタンの追加

ボタンリストからお好みのボタンをメニュー背景にドラッグ&ドロップします。



⑦ ボタンのサイズ調整

作成されたボタンは好きな位置に移動したり、サイズを調整することができます。



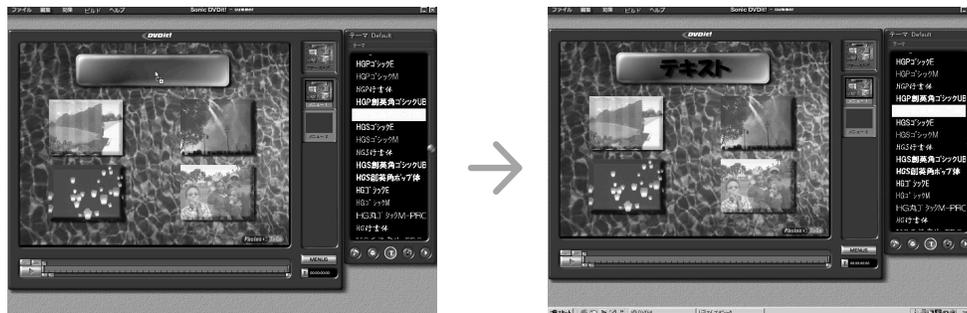
⑧ テキストテーマへの切り替え

メニューにテキストを追加します。パレットウィンドウの下にある「テキスト」ボタンをクリックします。



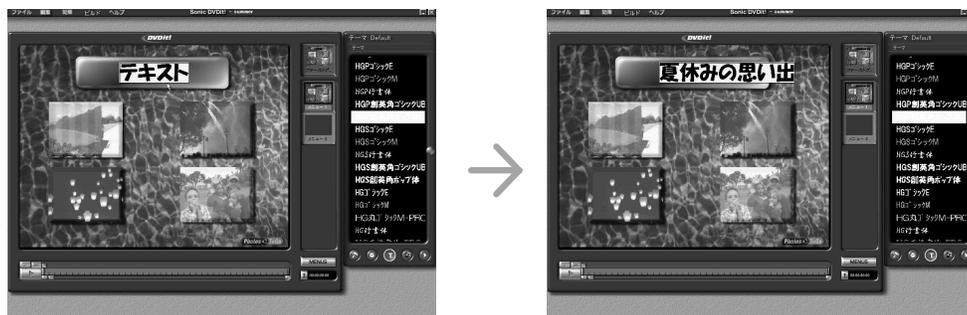
⑨ テキストの追加

テキストリストからフォント名をメニュー背景にドラッグ&ドロップします。



⑩テキストの入力

「テキスト」をダブルクリックして、ボタンの名前など、任意の文字を入力します。



⑪テキストプロパティの選択

入力したテキストは、必要に応じて色やフォント、サイズなどを変更することができます。テキストを選択して「効果」メニューから「テキストプロパティ」を選択します。



⑫テキストの変更

「テキストプロパティ」画面が表示されますので、表示する文字の色やサイズ等の設定を変更します。変更状態はリアルタイムに画面で確認できます。設定が終わったら「OK」ボタンをクリックします。



⑬テキストの移動

テキストをボタンの上に移動します。



STEP 5 プロジェクトのプレビュー

作成したプロジェクトの動作を確認することができます。

①「Remote Control」画面の表示

パレットウィンドウの下にある「再生」ボタンをクリックします。



②プロジェクトの動作確認

「Remote Control」画面が表示され、ファーストプレイオブジェクトが表示されます。Remote Controlのボタンを操作したり、直接ビデオモニタのボタンをクリックして、リンクなどをテストすることができます。



STEP 6 メニューの設定を変更する

作成したメニュー画面の動作設定を行うことができます。

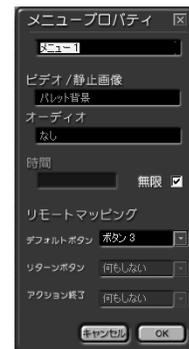
①メニューのプロパティを開く

メニュー/ムービープレイフォルダに作成されたメニューのサムネイル画像をマウスの右ボタンでクリックして「プロパティ」を選択します。



②プロパティの変更

「メニュープロパティ」画面が表示されます。メニュープロパティでは、メニューが最初に表示されたときにどのメニューボタンを強調表示するか、メニューをどれくらいの時間表示するか、設定された時間が終了したときにどのような動作を行うかなどを指定できます。設定が終わったら「OK」ボタンをクリックします。



STEP 7 ムービーの設定を変更する

登録したムービーの再生に関する設定を変更することができます。

① ムービープレイフォルダへの切り替え

メニュー/ムービープレイフォルダの下にあるボタンをクリックして「ムービー」を選択します。



② ムービーのプロパティを開く

メニュー/ムービープレイフォルダに作成されたムービーのサムネイル画像をマウスの右ボタンでクリックして「プロパティ」を選択します。



③ プロパティの変更

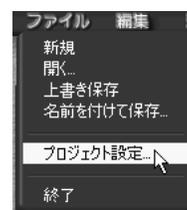
「ムービープロパティ」画面が表示されます。ムービープロパティでは、ムービーの再生が終了したときやプロジェクトのプレビューをする際に表示される「Remote Control」画面の「メニュー」や「次に進む」ボタンをクリックしたときに、DVDプレーヤーがどのように作動するかを指示することができます。設定が終わったら「OK」ボタンをクリックします。

**STEP 8** DVDの作成

作成したプロジェクトを元に、DVDディスクにムービーを書き出してみましょう。

① プロジェクト設定の確認

画像やリンクが正しく設定されているのを確認したら、DVDを作成する前に、ディスクのタイプやサイズ、名前などを指定するため、「ファイル」メニューから「プロジェクト設定」を選択します。



② プロジェクト設定の変更

「Project Settings」画面が表示されるので、「出力サイズの設定」で作成するディスクの種類とサイズを指定し、「ディスク情報」の「ディスク名」に任意のディスク名を入力します。



③プロジェクトサイズの更新

「現在のプロジェクトサイズ」で「更新」ボタンをクリックします。「更新」ボタンをクリックすると、どれくらいのディスク領域が使用されるかが「現在のプロジェクトサイズ」に表示されます。設定が終わったら「OK」ボタンをクリックします。



④DVDディスクの作成

DVD-R/RWメディアのディスクをドライブに挿入し、「ビルド」メニューから「DVDディスクの作成」を選択します。



⑤DVDディスクへの書き込み設定

「DVDディスクの作成」画面が表示されます。「レコーダー」でドライブを選択し、「書き込み速度」でドライブの書き込み速度を指定します。複数のディスクを作成する場合は、「コピーの数」に作成する枚数を入力します。「オプション」ではディスクへの書き込みオプションを選択します。「テスト」はソースがディスクに書き込み可能であることを確認するだけで、実際にはディスクには書き込みません。「ディスクのテストと作成」はソースがディスクに書き込み可能であることを確認し、問題がなければディスクを作成します。ただし、テストが終了するとディスクが排出されます。「ディスクの作成」はテストを行わずにすぐにディスクを作成します。全ての設定を確認後、「OK」ボタンをクリックするとDVDディスクの作成が始まります。



CD-R/RWメディアへの書き込みも可能です。この場合、書き込み可能な容量がDVD-R/RWメディアとは異なります。

⑥これであなただけのオリジナルDVDができあがりました。

プレサリオやDVDプレーヤーなどでお楽しみください。

お問い合わせ先
ソニック・ソリューションズ
DVDItサポートセンター
TEL 03-5232-5065
受付時間 10:00 ~ 17:00
(土・日・祝日及び会社指定休日を除く)
E-mail DVD-IT@sanshin.co.jp
ホームページ <http://www.sonicjapan.co.jp/dvdit>

お問い合わせについて

ソフトウェアに関するお問い合わせは、各ソフトウェアのページに記載されているサポート先にお問い合わせください。その他のお問い合わせは、以下のプレサリオサポートセンターを御利用下さい。

プレサリオサポートセンター

全国どこからおかけいただいても無料のフリーダイヤル。わかりやすい説明で、プレサリオに関する疑問やトラブルにお答えします。

0120-099-589

受付時間

平日 9:00～20:00

土・日・祝日 10:00～18:00

(年末年始およびコンパックの指定休日を除く)

重要▶ 製品の着荷時不具合*、内容物欠品と思われる場合は、プレサリオサポートセンターにご連絡ください。その際、プレサリオの機種名、シリアル番号をお知らせください。
(保証書をお手元にご用意ください。)

* 「着荷時不具合」とは、お客様が販売店からのご購入日(=保証書の日付)より7日以内にコンパックコンピュータにご報告いただいた製品不具合を指します。

